

令和4年度 総合技術研究所関連の行事等の紹介

令和4年

4月4日

・AITプロジェクトシンポジウム

本学の令和元年度「知の拠点あいち重点研究プロジェクトⅢ期」に採択された2件のプロジェクト、2件の分野横断研究などこれらのプロジェクトの研究成果、進捗状況、計画等を教職員が共有し、さらなる研究の発展や、募集活動をはじめとする広報活動、地域貢献事業にも活用することを目的として、AITプロジェクトシンポジウムを実施いたしました。当日は、教職員39名、学生30名で合計69名の参加がありました。

4月18日～

・総合技術研究所オリエンテーション

総合技術研究所オリエンテーションを「令和4年度総合技術研究所の利用受付および利用に関する留意点等について」と題し学内のグループウェア上で実施しました。「総合技術研究所の利用について」をはじめ「廃液・産業廃棄物取り扱い」などの資料を配布、また「総研の安全な利用のために」を動画で配信し、指導教員（総研利用申請者）へは「周知確認書」の提出を依頼して利用者全員への周知を行いました。

6月29日

～30日

・第15回 愛知工業大学プロジェクト共同研究シンポジウム

両日とも最初に、総合技術研究所長 鈴置保雄 教授からの挨拶と本学産学官連携の概要および進め方についての説明があり、2日間にわたり令和3年度に実施したプロジェクト共同研究の研究成果計22件（A研究18件、B研究4件）についての報告がなされ、それぞれの発表について活発な質疑応答がなされました。共同研究企業関係者、一般参加者、本学の教職員、学生を合わせ延べ84名の参加者がありました。



9月26日

・令和4年度 産学連携の推進に伴うリスクマネジメントに関する研修会

令和4年度に共同研究・受託研究・受託試験を実施している研究者及び産学連携を担当

する職員を対象に、実施しました。

三重大学の狩野 幹人先生を講師にお招きして、「安全保障輸出管理、技術流出、利益相反等に関するリスクについて」オンライン配信にて実施し、後日受講した教職員を含め、92名が受講しました。

10月4日
～31日

・イノベーション・ジャパン2022—大学見本市&ビジネスマッチング—Online 出展

今年度も引き続きオンラインでの開催となり、本学からは電気学科 清家善之教授が出展されました。

- ・出展ゾーン 大学等シーズ展示ゾーン
- ・出展分野 装置・デバイス
- ・出展タイトル『超微細化半導体デバイス
プロセスに対応した新たな物理的洗浄技術』

清家先生が出展された「大学見本市」では、日本全国にある123の大学などから過去最多となる433件の特許技術シーズ（出願中を含む）が9つの分野別で紹介されました。

11月18日

・愛工大テクノフェア2022の開催

本学の研究ポテンシャルを一堂に集めて公開する「愛工大テクノフェア2022」を11月18日、4年ぶりに開催することができました。

テクノフェアは産業界・地域社会との交流と産学官連携研究の推進を目的に、初回の2012年（名古屋電気学園100周年）から隔年で開催を続けていますが、2020年度は新型コロナウイルスの感染拡大のため、開催中止となりました。5回目となった今回は、大学院2研究科、大学3学部7学科14専攻、総合技術研究所、3研究センターなどの研究から生まれた技術シーズを47ブース展示し、講演会やロボットミュージアム見学会などが行われました。

講演会は、1号館3階メディア視聴覚室で二つの特別講演があり、初めに株式会社ジェイテクトの取締役社長の佐藤和弘氏が「ジェイテクトの目指す世界」と題して講演されました。佐藤氏は、新型コロナウイルスが大流行した2020年に社長に就任され、経済的に厳しい状況の中、打開策として『リボーン』を宣言し、既成概念に捉われず改革を推進したと話しました。10年後、20年後も、グループ会社の保有するシーズを組み合わせ、シナジー効果で既存事業の柱を深化させると共に新たな事業の発掘、育成に取り組み、「従業員が安心して働ける会社」を目指すと結びました。

続いて、本学情報科学部の中村栄治教授が「5G ドラ1技術への期待と育成法」と題して講演。5Gを支える技術の基本的な話から、5Gの応用までを解説しました。通信の

高速大容量化、超低遅延化、そして高信頼化が 5G の目指すところですが、現在においては、高速大容量化のみの実現に留まっていると話しました。今後、残り 2 つの技術が実現されれば、5G が社会の発展に大きく貢献することは間違いないと結びました。

1 号館 303 室では工学部、経営学部の教授ら 6 人が技術シーズの話題を提供する講演があり、小塚晃透電気学科教授が「超音波マニピュレーション」、福森健三応用化学科教授が「易リサイクル性高分子材料の高機能化」、神崎昌郎機械学科教授が「高温潤滑性を有するホウ素含有複合膜の開発」、渡邊康司土木工学科准教授が「地盤工学分野における基礎構造の研究開発」、巽信彦建築学科講師が「大地震後における建築物の継続使用に関する研究」、羽田裕経営学科教授が「知財情報を活用したマーケティング・ツールの開発及び提案」と題して順次講演、企業関係者らが熱心に聴き入りました。

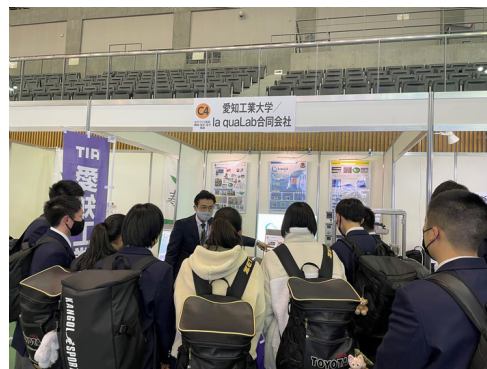


令和 5 年 3 月

・とよたビジネスフェア 2023 出展

とよたビジネスフェア 2023 に、愛知工業大学から電気学科 清家善之教授の研究室がブース出展しました。清家教授は、la quaLab 合同会社を起業しており、この企業は、愛知工業大学発企業です。

当日は、旭サナック株式会社の協力を得て、展示用装置を設置し、対面展示ブースに多くの来場者が訪れ質問にも対応し、盛況のうちに終わりました。



編集委員

総合技術研究所長	鈴置保雄	機械学科	松井良介
電気学科	岩田博之	土木工学科	岩月栄治
電気学科	津田紀生	建築学科	河路友也
応用化学科	大澤善美	経営学科	羽田 裕
応用化学科	小林雄一	情報科学科	小野木克明
機械学科	北川一敬	総合技術研究所	近藤元博

愛知工業大学総合技術研究所研究報告 第 25 号

2023 年 11 月発行

発行者 愛知工業大学総合技術研究所
愛知県豊田市八草町八千草 1247
〒470-0392

TEL (0565) 48-8121 (代)

FAX (0565) 48-4640

編 集 研究報告 編集委員会

印刷所 共生印刷株式会社
名古屋市中区新栄 2 丁目 11 番 6 号
TEL (052) 251-2281

